

2026年度 第29回日本知的障害者選手権水泳競技大会

二次要項

(一社)日本知的障害者水泳連盟
大会実行委員会

1. 大会概況

参加団体 知的 64チーム
参加選手 知的・モザイク 285名、ダウン症 49名、身体 27名、デフ 9名
種目数 知的 635種目、15チーム、ダウン症 111種目、身体 52種目、デフ 17種目

2. 日程

	前日練習日・1日目	大会2日目
日付	6月13日(土)	6月14日(日)
開門時間	13:00	8:00
(公式練習)	13:00~15:45	8:00~9:40
競技開始	16:00	10:00
競技終了	16:50	17:15
閉門時間	17:50	18:15

監督者会議：6月14日(日) 8:30~ 招集所

開会式：6月14日(日) 9:45~

※詳細スケジュールは別紙「競技時間」を参照のこと

3. 交通アクセスについて

(1) 横浜市営地下鉄「北山田」駅からの来場について

北山田駅から横浜国際プールへ続く外階段に設置されているエレベーターは、近隣マンション居住者専用のため、大会利用者は使用できない。

(2) 駐車場

車で来場した場合は、地下駐車場が利用できる。ただし、地下駐車場は一般来場者も使用するため、公共交通機関の利用を各クラブ関係者ならびにご家族へ周知すること。

4. 選手受付、ADカードの配布について

(1) 6月13日(土) 13時より、メインプール3階入り口にて、行う。※13日競技出場者のみ

(2) 6月14日(日) 8時より、メインプール3階入り口にて、行う。

5. 前日練習日について

(1) 6月13日(土) 13:00~15:45 メインプールにて練習を行うことができる。

※2026年度選手登録カードを必ず持参すること。

(2) 前日練習日は、公式スタート練習は行わない。

6. 監督者会議について

(1) 6月14日(日) 8:30からプールサイド招集所にて大会の注意事項を伝達するための監督者会議を行う。チーム代表者及び個人参加の付添者は、参加すること。

7. 13日(土)の競技会について

(1) 女子1500m・男子800m自由形については、6月13日(土)の16:00から競技を行う。

8. 棄権の届け出、リレーオーダーの提出について

- (1) 棄権届は、所定の用紙に記入し、競技開始1時間前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。
- (2) リレーオーダー用紙は、所定の用紙に記入し、各種目の開始1時間前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。

9. プールコンディションについて

- (1) 水温 メインプール・ダイビングプール 27.5℃
- (2) 水深 メインプール 2.0m (固定床)、ダイビングプール 5.0m (固定床)
- (3) 設備 ブックストロークレჯを使用できる。光刺激スタートシステムを使用する。

10. 館の使用について

- (1) 館への入退場は、正面3階入り口のみとする。
1階売店は利用できるが、1階からスタンド、更衣室への出入りはできない。
- (2) 館への入場後、プールサイドに入る際には、上履きに履き替えること。(土足禁止)
履き替えた靴(外履き)を入れる袋は各自で準備すること。プールサイド、階段付近に置くことは禁止する。
- (3) 選手席以外の場所取りは禁止とする。
- (4) ダイビングプール利用については、必ず保護者、コーチが同伴すること。
- (5) 更衣はメインプール更衣室を使用すること。ロッカーを使用する際は、必ず施錠し各自で保管すること。**鍵を紛失した際は、3階受付スタッフに報告すること。**
紛失代として5,000円を徴収する。(見つかった場合は、返金する。)
- (6) 前日練習のレーンについては、別紙を確認すること。
※当日、レーンの変更がある場合もあるのでスタッフの指示に従うこと。
- (7) **熱中症対策のため水分補給をこまめに行うこと。プールサイドへの飲み物の持ち込みは可とする。**

11. 表彰について

- (1) 男女別、障害区分別に、1位～3位にメダルを授与する。
ただし、参加者が3名の場合は1, 2位、1名又は2名の場合は1位にのみメダルを授与する。
- (2) メダルの授与は、各競技終了後、本部席側ダイビングプール付近にて行う。
- (3) 記録証は3階ロビーにて配布する。大会会場で受け取らない場合、後日の郵送は行わない。

12. ドーピングコントロール手続き

本大会は、WPS 公認大会として JADA によるドーピング検査を実施する。大会当日 18 歳未満の参加者は、18 歳未満競技者親権者同意書 ([JADA のホームページ](#)より入手) を用意しておくこと。

なお、すでに提出済みの場合は、再提出の必要はない。

13. 競技結果

- (1) 3階、受付付近に掲示をする。
- (2) 本連盟HPの「大会結果>2026年度リザルト」にて確認することができる。

14. インターネット配信

YouTube「2026年度第29回日本知的障害者選手権水泳競技大会」でLIVE配信する。

URL：<https://www.youtube.com/live/npJwDCbw1r8?si=Rzt0BrwKMhC6AbJC>

15. その他

- (1) 連絡事項等の資料は、整い次第公開する。引き続き、ホームページを確認すること。
- (2) IPCのライセンスプログラムに基づき、WPS登録をした選手は、WPSへ記録を報告する。
- (3) 会場における事故等については、応急処置のみとし、その他の責任は負わない。
- (4) 選手等が水着、ウェア等に着けて良いマーク等の規定については、2026年4月1日付で改訂された(公財)日本水泳連盟の「競技者のマーケティング活動ガイドライン」他諸規則に準じることとする。

(5) 6月14日は、3階ロビー付近に、協賛各社のブースが設置される。

「福祉ネイル体験ブース」

「デンバジャパン_体験ブース」 <https://health.denba.jp/charge/index.html>

「ふくのわプロジェクト 衣類寄付のご協力」

※衣類の寄付の際、必ず下記のお願いの確認をすること。

ご寄付いただく際のお願い

- 衣類のみ入れてください（衣類はクリーニングや袋やハンガーから外してください）
- 裏地にタグや記名が入っていてもOKです
- 濡れた状態での衣類はカビの原因となるため、お預かりできません
- そのままの状態で、リユースできるもの以外はお引き取りできません。
洗濯またはクリーニングしてからご寄付をお願いします



お送りいただけるもの

そのままの状態で着られる衣類
(コート、ダウン、スーツ、Yシャツ、セーター、
ワンピース、Tシャツ、子ども用も可)

レザー製品

ネクタイ、マフラー、スカーフ、帽子、手袋

和服、浴衣、帯、長襦袢、未使用の足袋

パジャマ、下着、ストッキング、靴下
(比較的きれいなもの)

水着、レインコート

毛布、タオルケット、シーツ

タオル、ハンカチ

カーテン



お送りいただけないもの

ダメージのある衣類
(汚れ、破れ、カビ、染み、ボタン破損などがあるもの)

企業や学校の制服、作業着など

着ぐるみ、ぬいぐるみ

毛皮製品

反物、端切れ布、綿入り半纏、毛糸玉

靴、サンダル、スリッパ、長靴、ブーツ

布団、枕、マットレス、ベッドマット、
ベッドカバー、枕カバー、カーペット

バッグ、ランドセル

ベルト、アクセサリ、ヘルメット、
眼鏡、サングラス、時計

スキーウエア、ウエットスーツ

※電池・機械部品など発火の恐れのあるもの